

みなさんにしてもらった実験は「場面想定法」という方法を用いた実験です。具体的な場面をシナリオ形式で呈示し、あなたが登場人物だったらどういう判断をして、どう思うかを回答してもらいやり方です。

具体的には、あるプロジェクトについて、投資を継続するかどうか (シナリオ 1、シナリオ 3)、既に何か (印刷機の場合とトラックの場合がある) を購入した状態で、さらに印刷機を購入するかどうか (シナリオ 2) というシナリオを呈示しました。実は質問紙には、既に何らかのコストを投資したか否か、新たな投資にあたって他者への説明責任が必要か否かの 4 種類がありました。みなさんはこの 4 種類の条件のうち、いずれかに割り当てられました。

実験の予測は、

1. 既に投資したコストが明確な場合には、さらなる投資を継続するだろう (シナリオ 1、シナリオ 3)。
2. 既に類似の機器 (印刷機) を購入している場合には、新たな機器の導入をしようとはしないだろう (シナリオ 2)。
3. こうした過去に投資したコストの影響力は説明責任が課された条件でより強いだろう。

の 3 つです。経済学的には過去にどれだけ投資したかということは、将来の意思決定に影響を与えるべきではないのですが、われわれは、その投資が失敗したと分かっても「投資した分がもったいないから、投資を継続して完成させよう」とか、新たな印刷機を買った方がいいのに「既に印刷機を買ったのだから、また新たな印刷機を買うのは無駄だ」と考えがちです。

結果は次ページの 3 つの図の通りになりました。仮説 1 と仮説 2 は支持されましたが、仮説 3 は支持されませんでした。説明責任の効果があまり出ていないという問題については、さらに検討が必要のようです。

ご協力ありがとうございました。このデータは心理学実習 III の授業で使わせていただきます。

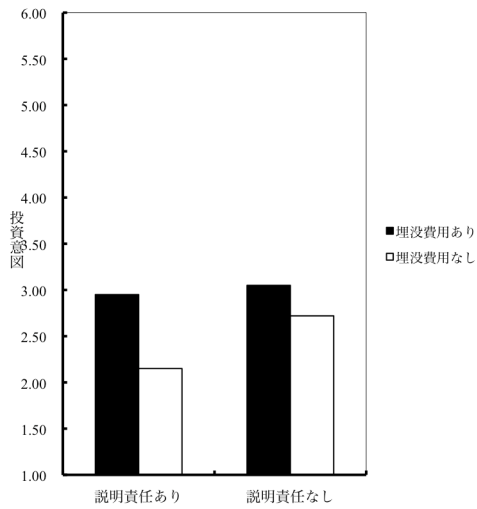


Figure 1 シナリオ 1 の結果

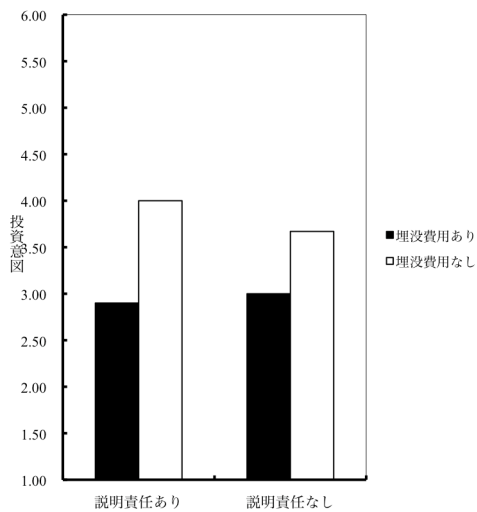


Figure 2 シナリオ 2 の結果

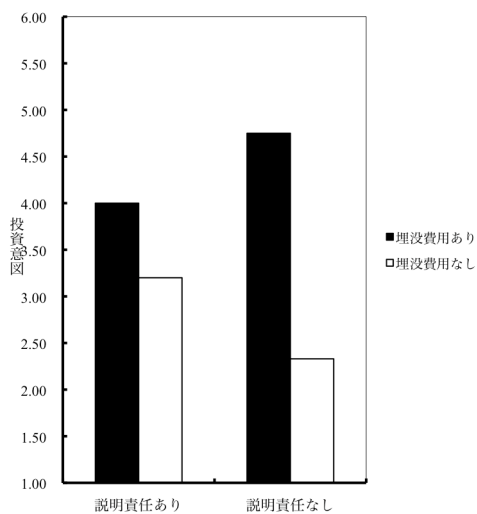


Figure 3 シナリオ 3 の結果